

第15回建設業経理士検定試験 1級財務分析

〔第1問〕 解答にあたっては、指定した字数以内（句読点含む）で記入すること。

問1

		10	20	25
5	10	企業の損益面での業績が良くても、売上債権の回収等のキャッシュ・フローの管理が適切でなければ、「黒字倒産」に陥ることがある。また、収益や費用の中には減価償却費等のキャッシュ・フローを伴わないものもあるため、企業活動の結果生じる損益と現金等は通常一致しない。したがって、損益フローだけでなく、キャッシュ・フローの面からも企業活動を把握することが重要である。以上より、企業の資金管理を適切に行い企業活動の実態を把握する上で、キャッシュ・フロー計算書は重要な意味をもっているため、財務諸表分析という場合、損益計算書や貸借対照表から得られる情報に加えて、キャッシュ・フロー計算書にもとづく分析が不可欠である。		

問2

		10	20	25
5	10	キャッシュ・フロー計算書の実数分析は、単純分析、増減分析、均衡分析に大別される。単純分析は、ある期間のキャッシュ・フロー計算書項目について、その金額および内容を分析する。増減分析は、2期間以上にわたる1企業の財務諸表の各項目を比較し、その増減を分析し、増減の原因を明らかにする。均衡分析は、事業収入と事業支出とが一致する均衡点を分析するキャッシュ・フロー分岐点分析に代表される分析方法である。		

〔第2問〕

記号（ア～ハ）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
シ	ウ	ナ	エ	ノ	コ	ニ	ハ	セ	ネ	ア

〔第3問〕

(A)

1	8	0	0	0
---	---	---	---	---

 百万円（百万円未満を切り捨て）

(B)

9	6	0	0	0
---	---	---	---	---

 百万円（同 上）

(C)

5	3	2	8	0	0
---	---	---	---	---	---

 百万円（同 上）

(D)

3	0	6	0
---	---	---	---

 百万円（同 上）

立替工事高比率

2	8	1	9
---	---	---	---

%

（小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入）

第15回建設業経理士検定試験 1級財務分析

〔第4問〕

問1 ￥

5	8	1	4	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---

 円（円未満を切り捨て）

問2 ￥

1	0	3	7	4	0	0
---	---	---	---	---	---	---

 円（同上）

問3 ￥

1	5	3	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---

 円（同上）

問4

4	3	9	6
---	---	---	---

 %（小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入）

問5 ￥

3	0	5	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---

 円（円未満を切り捨て）

〔第5問〕

問1

A 自己資本当期純利益率

0	3	7
---	---	---

 %（小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入）

B 当座比率

1	0	7	2
---	---	---	---

 %（同上）

C 未成工事収支比率

6	5	0	6
---	---	---	---

 %（同上）

D 必要運転資金月商倍率

1	7	6
---	---	---

 月（同上）

E 完成工事未収入金滞留月数

3	7	7
---	---	---

 月（同上）

F 純支払利息比率

0	0	2
---	---	---

 %（同上）

G 経営資本回転率

0	9	7
---	---	---

 回（同上）

H 付加価値率

1	7	8	5
---	---	---	---

 %（同上）

I 資本集約度

1	4	0	4	5
---	---	---	---	---

 百万円（万円未満を切り捨て）

J 営業キャッシュ・フロー対流動負債比率

0	3	7
---	---	---

 %（小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入）

問2

記号（ア～ホ）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
キ	ソ	ネ	シ	エ	ニ	コ	セ	フ	チ